

日本共産党市議員団ニュース

2013年 8月① 464号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp/>

今週の活動から



市役所本庁舎4階北側廊下には広報あつぎの表紙写真が発行順に貼ってあります。職員が現地に行き、撮ってきた秀作ぞろいです。(左:釘丸久子議員、右:栗山香代子議員)

外部評価、拡大2、継続2、見直し(改善4、縮小1)

今年も外部評価委員会による、市の事業についての外部評価があり、9事業、関連を含め13事業が狙い通りに進みました。結果は表のとおり。議員団も傍聴しましたが、委員自身が、市の事業をわかっていないというのが実感です。事前に質問し回答を得ているにも関わらず、事業について基本的な事を質問しています。この程度で事業を評価してよいものだろうかとの疑問を持たざるを得ません。

言葉とは、その人となりが出るのでしょうか、「こういうもの(事業)はイチヤモンをつけにくい」、保護者を「父兄」と言ったりする委員もいて、こういう視点で評価しているのかが感じられます。

文化会館維持管理事業では、維持管理そのものではなく、文化会館全体の運営に関する事に質問が集中。1400席の大ホールの利用率60%を取り上げ、もっと利用率を上げるためにプロモーターを取り込んだり、ただでさえ高い利用料の増額を言ったりと、自治体と営利企業とを混同しているのではないかと思われます。

地区地域福祉推進委員会交付金では、子育てや食会など、他でもやっているものがあるというけれど、地域で地域の人が福祉に関わることを、それを行政が後押しすることの意味がどれだけ理解されているのか。

外部評価委員は次の方です(敬称略)

委員長 安達和年(厚木市行政改革調査委員会委員長)

副委員長 中谷和浩(学識経験者)

委員 出雲明子(学識経験者)・笹木正敏(公募市民)・

千代川浩子(公募市民)

今回の外部評価では、市民サービスや、公の役割をどう考えるか、どう市民に理解してもらうか考えさせられました。そういう意味では、今回の傍聴は勉強になりました。

実施日	対象事業	評価結果	各委員の評価内訳
7月24日(水)	老人保養施設等利用助成金	見直し(改善)	見直し改善④ 廃止①
	市民協働推進事業費	継続	拡大① 継続③ 見直し改善①
	文化会館維持管理事業費(関連:文化会館維持補修事業費)	見直し(縮小)	見直し縮小③ 見直し民間②
7月28日(日) (出席委員4人)	母子家庭等家賃助成事業費	拡大	拡大③ 見直し改善①
	ヤマビル対策事業費(関連:鳥獣保護管理対策事業費)	拡大	拡大② 継続① 見直し統合①
	自立経営農家育成資金融資事業費(関連:農業制度資金利子補給金)	見直し(改善)	見直し改善② 見直し統合① 廃止①
7月31日(水)	地区地域福祉推進委員会交付金(関連:地域福祉活動支援モデル事業交付金)	見直し(改善)	見直し改善④ 継続①
	元気アップスクール推進事業交付金(小学校・中学校)	継続	継続③ 見直し改善②
	家庭教育学級交付金	見直し(改善)	見直し縮小① 見直し改善② 継続① 廃止①

話題あれこれ

第15回厚木市消防団消防操法大会

7月28日(日)午前9時より、厚木市消防訓練場(睦合分署併設)で、第15回厚木市消防団消防操法大会が開かれました。この大会は2年に1度、真夏の暑い時期にあります。日頃の訓練成果を発揮し、消防基本技術の向上と士気の高揚を図り、市民への消防団の意気を示すことを目的としています。開会の選手宣誓では「市民の暮らしと健康を守れるをモットーに、安心して暮らせるまちづくりを目指す」と宣言しました。

消防団長によれば「一番重要な訓練」である小型ポンプ操法について、専門・特別・計時の3部門の審査により、操作、動作、タイム等を競います。

今年は8分団15チームが出場、指揮者と1番・2番・3番員の4人1組で、重いホースをかついで走りポンプからホースをつなげ、火を消します。2番員は鷹口を持って構えます。鷹口は、消防活動において障害物の除去をしたり、ドア等を破壊して屋内に侵入するための開口部をつくったりと、いろいろ役立つ優れ物。規定の時間放水をして、走って戻り、各団員が服装確認をして、報告。

各チーム共、大会に向けて数カ月間の訓練をしてきました。最優秀賞は第2分団第6部(中依知)、優秀賞は中萩野、及川、関口の3地区。役割区分ごとに個人賞も決まりました。

消防活動は、市の消防職員だけでは賄いきれません。消防団員の協力があって市民のいのちと財産を守ることが出来ます。消防団の皆さんの平常時と発災時、それぞれの活動に感謝です。

団員が減少しています。団員募集中です。

